社内報 いずみ

☆☆☆☆☆☆☆

通巻第２７５号
平成23年5月号
発行者
編集
藤田　勇輝
志賀　由佳子
近藤　伸男

常在戦場

代表取締役　古庄　忠信

本日（14日土曜日）会社は休みですが、工場は25名ほど出勤しています。それで私も朝8時前より「社」に参拝して、いま社長室で社内報を書き始めました。

それにしても同業他社は震災の影響で資材が思うように入荷せず、仕事はあっ

てもその工程が進められず、連日工場や社屋の清掃が日常業務というところもあれば、メーカーでもレーフェフの車種のラインしか流れず、他の余剰人員はバンパー、ドア、フェンダーの単体部品の製造しかしていないと先月の東京の車工会の理事会で聞きました。

日一日と歯がゆい足どりではありますが、復興は進んでいますので、5月の中旬の現在では先月ほどではないにせよ、あらゆる産業が少なからずダメージを受けたまま、再起を目指して日夜努力されていることと思います。

業界がそんな時、私たちは少しの支障はありますが、工程消化のための休日出勤が出来ています。

「お疲れ様」と今日も何人かに声を掛けましたが、連休でえ分体を休められたこともあり、皆様の表情が明るいことに、私の気持ちも安らぎます。

このように工程が比較的スムーズに進行できるのは、一重に資材がしっかりしているからです。

もちろん私も震災直後に指示を出しましたが、他の役員にもその時既に危機意識はありました。

必要不可欠の資材をピックアップして各納入業者へは早めの確認を何度もしました。

3年前のリーマン不況で原油の高騰にはじまり、スチール、アルミ、ステンレス、塗料が急激な値上がり、品不足になった時も、我社はそれほどのダメージを受けませんでした。

この時も、何処の業者よりも早く、正月早々から、各納入業者様のところへこちらから新年の挨拶まわりを兼ねて在庫の確認をしてまわったお陰だと今でも自負しております。

何時も言うようにこれからも何が起こるかわかりません。

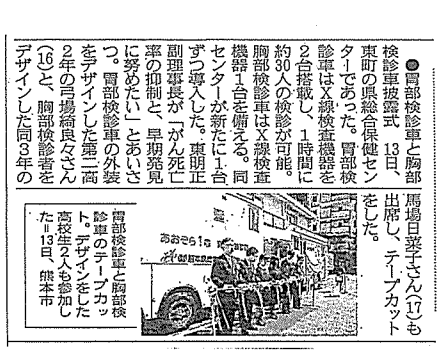
経営は常在戦場と思います。

検診車お披露目式
熊本県総合保健センター

4月13日(水)、熊本市東町の熊本県総合保健センターにおいて、先月納車した胃部検診車と胸部検診車の披露式があり、イズミ車体からも國武専務と宮崎常務が出席しました。

総合保健センターの東副理事長が「がん死亡率の抑制と、早期発見に努めたい」とご挨拶され、胃部検診車、胸部検診車をそれぞれデザインした県立第二高校の弓場さんと馬場さんと共にテープカットをしました。

翌4月14日の熊日新聞にもその時の様子が記事になって紹介されました。



●胃部検診車と胸部検診車披露式　13日、東町の県総合保健センターであった。胃部検診車はX線検査機器を2台搭載し、1時間に約30人の検診が可能。胸部検診車はX線検査機器1台を備える。同センターが新たに1台ずつ導入した。東明正副理事長が「がん死亡率の抑制と、早期発見に努めたい」とあいさつ。胃部検診車の外装をデザインした第二高2年の弓場綺良々さん(16)と、胸部検診者をデザインした同3年の馬場日菜子さん(17)も出席し、テープカットをした。

胃部検診車と胸部検診車のテープカット。デザインをした高校生2人も参加した＝13日、熊本市

ISO　作業力

それぞれの仕事を遂行していくうえで、その仕事にはどのような力量が必要か、という視点で現在の力量評価はされていますが、前々回の審査の際の審査員からの課題として、力量を技能単位で評価するのも良いが、作業単位で評価をしてはどうだろうか、と言われています。

具体的に言うと、「溶接の免許、その他公的資格を持っている」、「スプレーの取扱いが出来る」という現在の評価方法でも不備ではないが、「外板をひずみが作れる」、「バックが無く貼れる」、「ドアアイカメラをカーナビと連動させられる」「発々の修理が出来る」等の力量のほうが、より実践的で、その人にその仕事を任せられるか、という評価もしやすいのではないか、考えてみてください、という課題です。

その時に話されたのは、「運転免許を持っている、というだけでお客様の大事な車の回送を頼めますか？ペーパードライバーかもしれないし、極度の方向オンチかもしれない。回送を頼めるのはその人が運転免許証を持ってるからではなく、『無事に目的地まで車を運ぶ能力がある』ことを評価しているからでしょう」という事でした。

現在でも各部署で仕事を覚えるためのOJTが行われていますが、それはどうなったら終了ですか？溶接が出来るようになったら終了ではなく、一人で目的の作業を終わらせることが出来るようになるまで教え、実際にさせてみて出来映えを確認し、上手く出来るようになった時点でやっとOJTの終了でしょう。この時の評価を力量の項目に取り入れると、審査員の言う、『より実践的な評価』が出来るのではないかと思います。

皆さんの技術向上のための毎日の努力を正しく評価できるような仕組みにしましょう。

掲示板 5月号

六十周年記念

イズミ車体製作所の設立60周年に合わせて会社案内やおみやげ等を入れる手さげ袋のデザインもリニューアルされました。

60周年の記念ロゴマークはこの他にも名刺などに使われています。

還暦・厄入り祝い

日時　6月18日(土)　午後6時～
場所　県劇七彩
会費　未定

今回は還暦が5名、厄入りが3名と多いので、皆で盛大にお祝いしてあげましょう。多数のご参加をお待ちしています。

統一地方選挙のお礼

4月に2回行われた議員選挙は社員やご家族の皆様に大変お世話になりました。

新入社員歓迎会並びに慰労会

平成23年4月29日

イズミ車体製作所 新入社員歓迎会並びに慰労会

前列の左より三原さん
前崎さん、岩下さん
緊張がこちらまで伝わって来ました。
おつかれさまでした。

国歌斉唱で始まった「平成23年新入社員歓迎会並びに慰労会」今回は場所をホテル日航熊本の天草の間に変えて開催しました。

使命感を親和会会長の上村さん先達で一同が声高らかに唱和し、ご来賓ご挨拶を、熊本県議会議長の小杉直様より賜わりました。

次に新入社員10名の紹介につづき、新入社員を代表して三原聡さん、岩下敏光さん、前崎翔さんの3名によるフ新入社員心得5か条」の暗唱をしました。

乾杯のご発声は前衆議院議員の木原稔様に賜わりました。

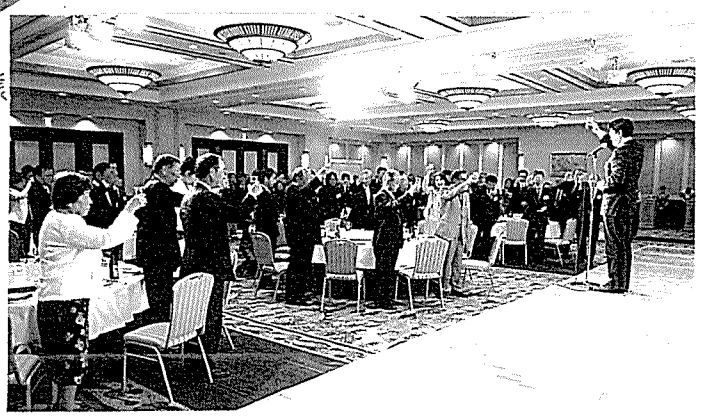
(高橋稲荷神社より頂いた神饌米はご列席の皆様へお持ち帰り頂きました。)

熊本県議会議長の小杉様

今年はアトラクションとして、Tれもの・わらべの舞踊、姫由美子さんの歌謡ショー、渡辺智子さんのピアノ生演奏が披露されて、会は大いに盛り上がりました。

最後に創造くまもと代表理事の木村仁様に三本締めのご発声をいただきました。

歓迎会並びに慰労会は、おかげ様で今年も盛会のうちに終えることが出来ました。ありがとうございました。



木原稔様

The・わらべ子供舞踊団

(和の文化を伝承する熊本演舞団)

華を添える艶やかな舞

歌手の姫由美子さん

電装課の甲斐貞徳さんが第2号のマイスターに認定され、認定証とマイスターバッジを受け取られました。おめでとうございました。

(プロフィール)

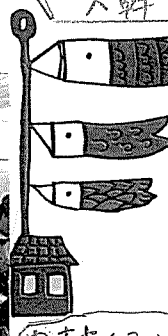
・ザ・わらべ子供舞踊団は平成14年に結成されました。今では年間50公演の舞台へ出向いています。

・昨年の9月には、韓国ソウルのお祭りに日本代表で1週間踊り続けました。

・今年の3月、新幹線開通のサプライズにも出演しました。

式典で披露して頂いた舞は、ビエント作曲の「本丸御殿」と「熊本の彩り」こちらは、近年に作曲された熊本ご当地ソングを古典的に構成された「熊本さわぎ」、スザンヌが歌っているご当地ソング「ダイスキくまもと」「ファイヤー」の2曲をメドレーで踊って頂きました。

どちらも熊本らしい振り付けで、見る者を楽しませてくれました。ありがとうございました。



中村くるみさん
上村あやのさん
堀尾かえさん